



### やさしく、判りやすい日本語を

わか にほんご

福原 義春  
ふくはら よしはる

70年以上も日本人でありながら、このごろまわりで話している日本語が判らなくなった。耳が遠くなったのではと疑われることもあるが、そればかりではなさそう。

考えて見れば、ぼくが子供のころには50歳を過ぎた人はみんな老人に見えた。それが今や平均寿命80歳前になってしまったのだから、生きている時間が格段に長くなってしまった。だから若い人たちとぼくの世代にはもう60年以上の差があり、話される言葉もその間にどんどん変わってしまったのだ。

そのひとつは話す速度だ。ぼくたちの世代は毎夜のテレビのバラエティ番組に出るタレントの話す早さととてもついていけない。ニュース番組でさえ、アナウンサーの言葉をテロップで活字化しているではないか。しかもそれが役に立つことが多いのだ。

また話し言葉の抑揚やアクセントが変わって来てしまったこともあって、これも言葉を理解するのに困難

を覚える原因のひとつだ。

おぼ げんいん

もうひとつは米国流に何でも省略してしまうことだ。

べいこくりゅう なん しょうりやく

ぼくの育ち盛りのころは進駐米軍からPXとかCIEとかFENとかRTOだとか教えられた。今だってEUとかNPOとかIT、CEOとか、頭文字によるものと難しい省略語も氾濫している。そのスタイルを日本語でやるものだから、デパ地下とか、ファミレス、ドタキャン、ジコチュー…まるで訳のわからない略語までが飛び交っている。

コメディアンを使う感嘆詞に至ってはもっと流行りすたりが激しい。遠い昔の「アジャパー」「オヨヨ」ですらぼくたちには使えないし、大体今はやりの言葉はニュアンスすら判らない。

日本語を学ぶ外国の方々をおどかすつもりは毛頭ない。だけれども生活が光の速度で変わって行く時代には、日本語の話し言葉も書き言葉もおそろべき早さで変わって行くことを伝えたかった。しかし、やさしくて判りやすい日本語はいつの世にも不変の筈だ。それを学んで欲しい。

(資生堂名誉会長)

しせいどうめいよかいちょう

■ 表紙エッセイ <b>やさしく、判りやすい日本語を</b> 福原 義春（資生堂名誉会長）	
■ KC 研修生の Nippon リポート 第2回 ……………	3
<b>家族といっしょに過ごしていますか</b>	
■ JF 日本語関連事業紹介 ……………	4
日本語国際センター開設 15 周年記念公開イベント「日本語で話ませんか」概要報告 日本語事業部企画調整課	
■ 授業のヒント ……………	6
<b>談話構成を意識して話そう（2）～中級編～</b>	
■ 新聞・雑誌から見る現代日本 第20回 ……………	8
<b>中小企業の販売戦略</b>	
■ 本ばこ（新刊教材・図書紹介） ……………	11
■ 日本語・日本語教育を研究する 第26回 ……………	14
<b>「待遇コミュニケーション」という捉え方</b> 早稲田大学大学院日本語教育研究科教授 蒲谷 宏	
■ 文法を楽しく!! 第2回 ……………	16
<b>「他動詞・自動詞」（1）</b>	
■ にほんごハローワーク 第2回 ……………	18
<b>日本の営業文化への疑問をビジネスに</b> 宋 文洲 さん ソフトブレン株式会社 代表取締役会長（出身：中国） 「にほんごハローワーク」は、概要版を本誌と PDF で、詳細版を HTML で掲載しています。	

## On the Web [http://www.jpjf.go.jp/j/japan\\_j/publish/tsushin/index.html](http://www.jpjf.go.jp/j/japan_j/publish/tsushin/index.html)

以下の記事は JF のウェブサイトのみにてご覧になれます。

- 授業に役立つホームページ 第11回  
**日本語を楽しもう！ 擬音語って？ 擬態語って？**
- 海外日本語教育レポート 第9回  
**日本との距離が縮まる中で 5年目を迎える中学校での日本語教育**  
ソウル日本文化センター専任講師 三原龍志

※本誌で、ルビが文字の下に付いているのは、紙や物差しなどでルビを隠して、漢字の読みの練習ができるようにするためです。

### 編集部から

今回の表紙エッセイは株資生堂名誉会長の福原義春さんに書いていただきました。エッセイでは最近日本で使われている略語がいくつか出ています。実を言うと、わたしはこれらの略語がよく判らなかったの、いろいろ調べました。たとえば「ジコチュー」という言葉ですが、自己中心の略語で、日本で流行ったアニメキャラクター「ピカチュー」をもじり「ジコチュー」が生まれたそうです。そして、2000年のユーキャン流行語大賞でトップテンに入賞しました。

また、日本では家族向けのレストランを「ファミリーレストラン」と言いますが、それを略して「ファミレス」と呼びます。「ファミレス」の特徴は値段が安い上、メニューも豊富で、さまざまな料理が楽しめるほか、マナーにもうるさくなく、子どもが騒いでも周りが気にしない雰囲気なので、土日はいつも子ども連れの家族でにぎわっています。

ほかに、「デバ地下」という言葉ですが、実はこの言葉が今の日本ではちょっとしたブームを呼んでいます。「デバ地下」とはデパートの地下食料品売り場のことですが、主に売られている品

物は惣菜、弁当、デザート、酒などです。最近、「デバ地下戦争」と呼ばれるほど、各デパートが力を入れているため、食べ物ブームの火付け役となることもしばしばありました。

「ファミレス」などで食事をとることを「外食」と言いますが、一方、調理済みの惣菜などを「デバ地下」で買い、自宅に持ち帰って食べる食事を「中食」と呼んでいるようです。今、中食産業が注目を集めています。

日本語教師である私はこのような言葉と文化の変化をどのように扱えばいいのか、ひとごとではありません。

（企画調整課専任講師 王崇梁）

### 表紙エッセイプロフィール

福原 義春（ふくはら よしはる）

株式会社資生堂名誉会長。国際交流基金パリ日本文化会館日本友の会会長。1998年に資生堂学園初代理事長、00年東京都写真美術館館長、東京芸術大学理事など多数の要職を歴任。受賞歴については98年グランデ・ウフィチアーレ章（イタリア）、02年レジオン・ドヌール勲章グラントフィシエ章（フランス）、北京市榮譽市民（中国）等、数々の受賞のほか、04年には旭日重光章を受賞した。著書に『企業は文化のパトロンとなり得るか』『100の蘭』等。

KC研修生の  
けんしゅうせい  
 (関西国際センター)  
かんさいこくさい

# Nipponレポート

第2回  
だいにかい

家族といっしょに  
かぞく  
 過ごしていますか  
す

このコーナーでは、関西国際センターの日本語研修に参加している  
かんさいこくさい にほんごけんしゅうせんか  
 研修生が研修を通して発見した **Nippon** についてレポートします。  
けんしゅうせい けんしゅう とお はっけん



「日本語履修大学生訪日研修（秋季）」では、「インタビュープロジェクト」と題して、日本や日本人について興味があることを調べました。

ウクライナのオクサナさん、スベータさん、トルコのイトウルさんは、

「日本の若者と家族」について調べることにしました。

◀日本人大学生にインタビューしているところ  
にほんじんだいがくせい

## 【日本人大学生 37 人にインタビューしました。】

にほんじんだいがくせい にん

家族とどのぐらいいっしょに過ごしますか？  
かぞく す

<多かった答え>

・平日：1～2時間ぐらい  
へいじつ じかん  
 ・週末：2～3時間ぐらい  
しゅうまつ じかん

もう少し詳しく聞きました。

家族には何でも話することができますか？  
かぞく なん はな

<答え> はい…0人 いいえ…37人  
こた にん

<大学生の意見>

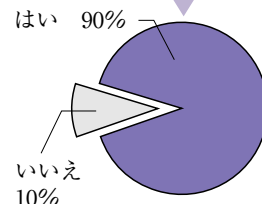
- ・恋人について両親に話すのは恥ずかしい  
こいびと りょうしん はな
- ・友だち関係については個人的なことなので話さない  
とも かんけい こじんてき はな
- ・お金についての相談をすることが多い  
かね そうだん おほ
- ・子どもの時は何でも話すが、だんだん話さなくなる  
こ とき なん はな



ホームステイで私も日本  
わたし に  
 本の家族ができました。  
ほん かぞく  
 (イトウル)

家族といっしょに過ごす時間は十分だと思えますか？  
かぞく す じかん じゅうぶん おも

トルコでは、家族でゆっくりいっしょに食事をする時間を大切にしています。



恋人のことは、母には話しますが、父にはあまり話しません。恥ずかしいので…。



左から、オクサナ、スベータ、イトウル

「家族と過ごす時間は1～2時間で十分だ」と思っている人が多いということがわかってびっくりしました。私たちの国では、若者でも「できるだけ家族といっしょに過ごしたほうがいい」と考えている人が多いです。

▽ 家族や子どもに関する調査についてもっと知りたい人は下の URL を見てください。

Child Research Net …… <http://www.crn.or.jp/LIBRARY/index.html>

第7回世界青少年意識調査結果概要速報 …… <http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/worldyouth7/pdf/top.html>

## JF日本語関連事業紹介

にほんごかんれんじぎょうしやうかい

### 国際交流基金日本語国際センター 15周年記念公開イベント

こくさいこうりゅうききん にほんごこくさい しゅうねんきねんこうかい

# 「日本語で話ませんか」 概要報告

にほんご はな がいようほうこく

2005年3月12日(土) 13:00~17:30実施

ねんがつにちど じっし

日本語事業部企画調整課

にほんごじぎょうぶきかくちやうせい か

#### <センターの活動を日本国内へもアピール>

国際交流基金(以下、基金)が、海外に住む日本語教師のための研修や、日本語学習教材の開発を主な目的とした日本語国際センター(以下、センター)を1989年に開設してから、15年が過ぎました。これまで約6,000人の世界各国の日本語教師が同センターで研修を受け、海外における日本語教育を支えています。2003年に行われた海外日本語教育機関に関する調査では、海外在住の日本語教師は約33,000人を数えました(うち、日本語を母語としない教師は約7割)。単純計算では、世界の約5分の1の日本語教師の方々がセンターの関係者ということとなります。本誌の読者の中にも、センターでの研修を懐かしく思い出してくださる方が多くいらっしゃるでしょう。内外の日本語教育関係者にはよく知られている同センターですが、日本国内では、一般的にまだまだ知名度が低いのが現状です。また、海外で日本語を学ぶ方が200万人以上いるという事実も、日本国内ではそれほど知られていません。そのため、このたびのセンター設立15周年の機会をとらえ、日本語国際センターの活動や海外の日本語教育の現状について、より多くの方々を知っていただくこと、公開イベントを開催するようになりました。

#### <15周年記念公開イベントの概要>

わずかが半日の日程ではありましたが、後述するシンポジウム形式の座談会(座談会の模様はこの4月にNHK教育テレビで放送されました)、日本語教授法のミニ講座、センター図書館が所蔵する海外で制作された日本語教材や、海外の日本語教育機関からご提供いただいた授業風景の写真などの展示、センターに滞在中の研修生と参加者が日常生活や習慣などの違いについて日本語で話し合う異文化交流セッション、基金が開発したインターネット事業である「みんなの教材サイト」や「すしテス

ト」の体験コーナーなど、様々な催しを用意しました。当日は、関東圏の方だけでなく、九州など遠方からも含め、200名以上の参加者にお越しいただき、活気あふれるイベントとなりました。以下に、今回のイベントの中心であった座談会について、その概要をお伝えいたします。

#### <座談会「日本語を学ぶこと、教えること」について>

今回の座談会は、海外で日本語を学び現在は日本で仕事をしている元学習者3名と、海外で日本語を教えたことがある教師3名に、それぞれの学習あるいは教授経験をお話しいただくことを通して、海外で日本語を学んだり教えたりすることとは具体的にどのようなものなのか、またその課題とは何かをあぶり出そうという試みでした。学んだ側として、中国出身の孫健娜さん(北京外国語大学日本語学部)に入学し初めて日本語学習を開始。その後、東京大学大学院留学、北京日本学研究中心※1を経て、

現在はソニー・ヒューマン・キャピタル株式会社勤務の、米国出身のジニー・パーカーさん

(高校生の

座談会)



〈教授法ミニ講座〉

時に姉妹都市交流で2週間日本に滞在。プリンストン大  
 学入学後、本格的に日本語学習を開始。大学のインター  
 ンシッププログラムで大阪にある企業で1年間OLを経  
 験し、その後もさらに日本を探求すべく滞在を続け、現  
 在はウォールストリート・ジャーナル誌記者)、イタリ  
 ア出身のロマネエルロ・ドナトさん(子供の時に見た日  
 本のアニメや地震に興味をもち、ナポリ東洋大学に入学  
 して日本語学習を開始。大学生の時に短期で初来日、卒  
 業後も日本と関わりのある企業で仕事をする。現在イタ  
 リアのタイヤ・メーカー、ピレリ株式会社日本支社マー  
 ケティング部長)に日本語の学習経験をお話いただきま  
 した。孫さんは、中国人の日本語の先生が作成した教材  
 の例文をひたすら覚えたこと、日本人留学生が多く実際  
 に会話する機会に事欠かなかったことや、北京日本学研  
 究センターで日本人の教授陣の下、日本語で議論したり  
 レポートを書いたりしたことが、日本語上達に役立った  
 と思う、と述べられました。パーカーさんは、日本での  
 ホームステイや会社の寮で日本人と生活を共にしたこと  
 や実際の会社勤務経験が、ドナトさんは日本語会話のテ  
 ープをたくさん聞いたことが、日本語の上達に役立った  
 と話されました。また、来日後に、日本語で苦労した点  
 としては、孫さんは、話し言葉と書き言葉の違いや、和  
 語と漢語の使い分け(どのような時に漢語を使うかの判  
 断)が難しい点、パーカーさんは関西弁の語彙やアクセ  
 ントがそれまで学校で習ったものと全く異なっていた点  
 や経済記者として日本語の経済用語や業界用語と今も格  
 闘している点、ドナトさんは自分と相手との人間関係の  
 距離の取り方を敬語の使用量で表さなければいけない点  
 が難しいと述べられました。

教えた側としては、香港出身で学んだ側としての経  
 験もお持ちのサウケン・ファン先生(香港の中文大学  
 で日本語を専攻、オーストラリアの大学院で第二言語習  
 得等を研究しつつオーストラリア人の学生に日本語を教  
 え始め、日本人と結婚後来日、現在は神田外国語大学助  
 教授)、金田一秀穂先生(杏林大学教授で、基金の派遣  
 で中国や米国で日本語教師として教鞭を取られた経験有  
 り)、横山紀子先生(センター開設以来、専任講師とし  
 て海外の日本語教師の指導に携わる。シンガポール、米  
 国、中国でも教鞭をとられた経験有り)のお三方に、ご  
 自身の日本語観や言語習得観もまじえながらお話をし  
 いただきました。ファン先生からは、日本の漢字にはな  
 い文字を使う樊という中国名の姓と夫の姓である日本名  
 とをどのように使い分けしているかのエピソードを通して、  
 母語ではない日本語を使うことで自分自身を新たな視点



〈世界の日本語教材展〉

から眺めることが  
 できる面白さを語  
 ってくださいまし  
 た。同様の観点か  
 ら、金田一先生は、  
 外国語を学ぶこと  
 と同様に、日本語  
 を外国語として教



〈海外での授業風景の写真などの展示〉

えることによっても、日本人としての自分自身を掘り下  
 げて考えることができる醍醐味を語られました。横山先  
 生は、シングリッシュと呼ばれる実用優先のシンガポ  
 ール英語に出合っ、それまでの正確さ優先の英語に対す  
 る強迫観念が崩れ去ったこと、移民の多い米国では生活  
 の隅々で英語を母語としていない人への配慮がなされて  
 いた点、コミュニケーション・アプローチ全盛の日本から  
 飛び込んだ中国で徹底した暗記暗誦の学習法によって高  
 い日本語力を身につけた人々を目の当たりにし、そうした  
 学習法に対する認識を改めたこと、などを語られまし  
 た。

また、孫さんやパーカーさんが、「いまいち」など日  
 本での生活や日本人とのコミュニケーションの中でしか  
 その語感を身につけられない日本語が多いことを指摘さ  
 れました。それに対し、横山先生からは、そうした環境  
 を得難い海外での日本語学習は一見デメリットのように  
 思われるが、逆にそうした環境だからこそ育まれる熱意  
 も外国語習得には大事である点を指摘されました。その  
 実例として、センターに研修に来る来日経験がない日本  
 語教師が大変流暢な日本語の使い手である場合が珍しく  
 ないことを挙げておられました。

他にもパネリストからは興味深いお話が次々と披露さ  
 れ、聴衆も熱心に耳を傾けている姿が印象的でした。こ  
 れを機に海外における日本語教育について、日本国内で  
 の関心がさらに高まり、日本語での交流が益々活発にな  
 ることを願っています。

※1 基金と中国政府が共同で運営する大学院機能を持つ研究機関

# 授業のヒント

## テーマ

### 談話構成を意識して話そう(2)

#### ～中級編～

ちゅうきゅうへん

目的 もくてき
・ 談話構成を意識して経験談が話せるようになる。 だん わ こうせい いしき けいけんたん はな
学習者のタイプ がくしゅうしゃ
・ 中～中上級 ちゅう ちゅうじょうきゅう
クラスの人数 にんずう
・ 何人でも なんにん
準備するもの じゅんび
・ テープ、テープレコーダー、録音用マイク ろくおんよう

## ◆中級の話す能力

ちゅうきゅう はな のうりよく

中級のレベルでは、一通り学習し終えた初級の文法を使って話せるようになることが学習の目標の一つになります。既習の文法項目をどのようにひとまとまりの談話の中で使うかということに注目させることが大切です。さらに、自分の力で談話の構造を考えながら組み立てていけるようになる能力を育てることも必要です。また、話す相手や状況によって、文体(丁寧体と普通体)を変える社会言語学的能力を育てていくことも必要でしょう。

今回はその一つの手段として、経験談を取り上げます。その理由として、経験談は談話の構造がはっきりしているため、構造を意識しやすいたということが挙げられます。また、経験談は、フォーマルなスピーチにも親しい人とのインフォーマルな会話にもよく登場しますから、談話構成を意識した話を練習するのにぴったりです。みなさんの生活を振り返ってみてください。日常生活で自分の身の回りに起こった出来事や体験を、親しい日本人の友人や日本語の先生に話したくありませんか。

## ◆活動の手順

かつ どう て じゅん

初級ではモデルの提示から始めることがほとんどですが、中級以降の場合、既習項目を使って表現することができるようになっているので、与えられたタスクの発表から先に行なうという方法が用いられるようになります。

スピーチを行うために重要な「談話構成」をどのように把握させるかのヒントを紹介し

ます。(タスク先行型)。それには、次のようなステップが考えられます。

### ＜タスク先行型の活動の手順＞

- ステップ1: 1分くらいで話せる経験談を考えてくるように指示する。必要に応じて教師が自分の経験談を話す。
- ステップ2: クラスで自分の経験談を話す(録音)。
- ステップ3: 録音の書き起こし(トランスクリプションの作成)。
- ステップ4: モデルとなる経験談をいくつか提示し、教師の指示のもと、その談話構成を分析する。
- ステップ5: モデルの談話構成と自分の話を比較する。問題となる部分を自分で訂正する。
- ステップ6: 教師は学習者に共通して見られる文法項目の間違いをクラスで復習し、学習者に自分の間違いに気づかせる。
- ステップ7: 学習したことに気をつけて、なめらかに話せるよう原稿を見ずに練習する。
- ステップ8: もう一度同じ経験談を話す。

まず、ステップ1では、自分の体験から困ったことや面白かったこと、忘れられない思い出など、一つの話題を選んで1分程度の短い経験談を考えてくるように言います。経験談がどのようなものかがわからない学習者がいる場合は、教師が自分の面白い経験談をしてみるといいでしょう。学習者には、経験談のアウトラインは書いてもいいが、原稿を全て書いてそれを丸暗記するような準備はしないように言います。

ステップ2では、床に座るなどできるだけリラックスした状態で、クラスメイトに経験談を披露します。この時、話を録音します(インフォーマルな場での経験談)。

ステップ3では、宿題として録音したテープを自分で聞き、全てを書き起こしてくるよう指示します。これは、談話構成を意識したり、自分の話し方を振り返ったりするのに必要な作業です。話の展開がよくわかるように発話の区切れごとに書き起こすように指示します。その際、次のようなトランスクリプションの例を示すとよいでしょう。

(トランスクリプション例)

1)	これは、私がスキーに行ったときに失敗した話 なんだけど。
2)	もう10年ぐらい前かな。
3)	私は、それまでスキーに行ったことがなかった のね。
4)	それで、友達にスキーに行こうと誘われて、
5)	とても楽しみにして行ったの。
6)	それで、スキー場に着いて、
7)	まず、リフト券を買って、
8)	2人乗りのリフトに友達と乗ろうとしたんだ。
9)	そしたら、私は、リフトにうまく乗れなくて、 体が横に倒れちゃったのね。
10)	で、そのとき、私のストックが横に座った友達 のお尻の下に入っちゃったの。
11)	それで、そのストックを取ろうと思って私、 引っ張ったのね。
12)	そしたら、その友達がリフトから落ちちゃった んだ。
13)	あの時は本当に友達にすまなかったなあと思 も思う。

提出された学習者のトランスクリプションについて、  
教師は次の3点をチェックします。

①談話構造

経験談は、基本的に a) 話の概要の説明→b) 登場  
人物・状況の説明→c) 実際の出来事→d) 出来事  
に対する評価、という流れで構成されています。そ  
の流れに沿っているか、チェックしましょう。

②話の展開部分とそこに使用される文法

実際に起こった出来事を描写する部分には、話が盛  
り上がる部分がいくつか見られます。そこでは「～  
たら／そしたら」「～ちゃう」、受け身、引用、「の/  
んだ／んです」が現れることが多いので、学習者の  
話の中にもそれらが効果的に使われているかチェッ  
クしましょう。

③話のまとめりやつながり (結束性)

主語の「は」と「が」、文脈指示の「この」「その」  
の使い分けや、文と文をつなぐ接続詞や副詞などが  
適切に使われているかをみましょう。

次のステップ4では、学習者にモデルとなる経験談を  
分析させましょう。まず、学習者に上記のようなモデル  
となる経験談のトランスクリプションを見せながら話

を一度聞かせます。そして、その話の構成に注目させま  
す。まず、前述の①談話構造にある a) から d) の4つ  
の部分に分けさせてみましょう。ただし、話によっては  
c) と d) しかない場合もあります。左の例では、1)  
が a) 話の概要部分、2)～3) が b) 状況説明の部分、  
4)～12) が c) 実際の出来事が動いていく部分、そし  
て、13) が d) 出来事に対する評価部分になります。

そして、特に c) 実際の出来事が動いていく部分に注  
目させその中で話が盛り上がっている部分に、どのよう  
な文法が使われているかを学習者に挙げてもらいます。  
左の例では、9) 10) と 12) が盛り上がっている部分  
になりますが、他の部分と比較してみると「そしたら」  
「ちゃった」「の／んだ」が使われていることがわかりま  
す。分析の時に重要なのは、学習者に気づかせるように  
することです。学習者自身が発見したことを学習につな  
げる経験を積むことは、習得の促進や自律的な学習態度  
の養成にもつながります。

ステップ5では、モデル例の分析結果をもとに、各自  
の最初の話を振り返り、どこをどう直せばいいかを考え  
ます。自分の話の盛り上がっている部分がどこかも考え  
ながら、盛り上がりふさわしい文法を意識的に使用する  
よう促します。続くステップ6では、教師は学習者に  
共通する間違いをまとめて全体で復習する機会を設けま  
す。学習者には復習後、自分のトランスクリプションを  
見てその間違いを訂正させます。ステップ7では、学習  
したことに気をつけながら滑らかに話す練習をします。

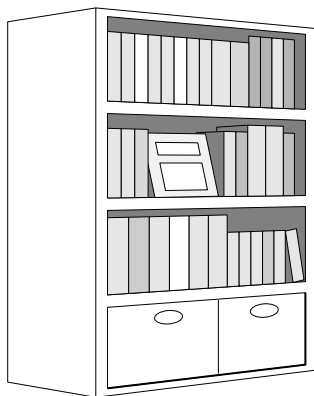
このように、談話構造を意識して自分の話した経験談  
を直し、最後になめらかに話せるようになる練習をした  
ら、最後の活動として(ステップ8)、練り直した経験  
談をもう一度披露してみましょう。この時、外から日本  
人のゲストを呼ぶと、話す相手も状況も違う発表となる  
ので、同じ話でもより新鮮で有意義な披露の場となる  
と思います。また、初対面の相手なので文体を換えて話す  
練習にもなるでしょう。

普通体の会話が初めての学習者には、丁寧体の発表を  
先にするとういでしょう。

参考文献

「上級日本語学習者の口頭ナラティブ能力の分析—雑談の場  
での経験談の談話指導に向けて」木田真理・小玉安恵 (2001)  
日本語国際センター紀要11号  
「中級入門期におけるディスコース組み立て練習の実践」  
(2001) 田頭直美 岡山大学留学生センター紀要8号

このコーナーの担当者：小玉安恵、阿部洋子 (日本語国際センター専任講師)  
読者の皆さんからのアイデア、成功例、失敗談などぜひお寄せください。



# 本ばこ

## —新刊教材・図書紹介—

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っていると便利な図書・資料」などを取り上げます。

- ※データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 判型・ページ数 6 定価 7 その他

### 初級文法の整理に役立つ

## 短期集中初級日本語文法総まとめポイント 20



#### データ

1 友松悦子、和栗雅子 2 スリーエーネット  
ワーク (〒101-0064 東京都千代田区猿楽町  
2-6-3 (松栄ビル)) TEL.03-3292-5751 FAX.  
03-3292-6195 URL.www.3anet.co.jp 3 2004  
年11月19日 4 4-88319-328-4 5 B5判 129  
ページ 6 1,470円 7 別冊解答付き

間で整理し、関連付けて復習できるように工夫されています。初級文法に出てくる「は」と「が」、「自動詞と他動詞の対」、「可能表現」、「使役」、「条件」、「受身・使役受身」など20項目を20課に分けて提示しています。各課は学習者が自分でも初級文法の習得状況を確認・補強できるように「スタートテスト」→「ポイント」→「練習問題」という流れで作られています。また、教師は中級クラスで初級文法の復習用に使えます。

「ポイント」部分は文法の意味、使い方を挿絵や図表を使って、要領よく説明しているので、文法の整理や再確認に適しています。「ポイント」の説明には英語、中国語、韓国語の訳もついています。

### ▽文法の基礎を確認するために

『広辞苑』によると基礎とは「その上に建物や文法を建てたり大きな装置を設置したりするために据える土台」のことです。立派な建物を建てるには確かな土台がなければなりません。日本語も上手になりたければ、確かな日本語文法の基礎を身に付けなければなりません。

しかし、日本語の習い始めは毎日新しい語彙や文法が波のように次から次へと押し寄せてくるので、覚えるのに精一杯です。習った文法をきちんと分類したり、整理したりする余裕がなく、あやふやな状態に陥りやすいのではないしょうか。

「初級日本語の学習は終わったが、文法にはぜんぜん自信がない」などの声がよく聞かれますが、このような学習者には本教材が役立つでしょう。

本教材は初級で習った文法項目を短時

### ▽文法の基礎を固めるために

「スタートテスト」部分は問題形式になっていて、学習者は「スタートテスト」の問題に答えることによって、自分はどの程度初級文法を理解できたか、どの程度正確に使えるようになったかを確認できます。自分の文法の弱点を確認できたなら、「ポイント」部分に進み、それを補強できます。

続く「練習問題」は「ポイント」に出ている文法項目を短文やまとまった文章(談話)の中でどのように使うのかを考えるものです。練習問題に答えながら「ポイント」を正確に身につけたかを再確認できます。

本教材は「コラム」というコーナーもあります。全部で「コラム」は3つありますが、初級日本語学習者にとって難しそうな副詞などの使い方を分類し、分かりやすくまとめてあります。

「スタートテスト」や「練習問題」についての解答冊子もついています。

目次	
1 課 動詞	2
2 課 「は」と「が」	3
3 課 活用	16
4 課 活用と 動詞の分類と「て形」、「た形」	21
5 課 動詞の活用と文型	27
6 課 語つづり	32
7 課 こ・そ・あ 自分と相手との関係	40
8 課 申し出・勧誘 自分の行為の申し出が、相手への働きかけか	46
9 課 自分か相手か	51
10 課 継続性か・瞬間性か	58
11 課 助動詞の位置 一ていく、～てくる	65
12 課 他動詞と自動詞の対	66
13 課 可能表現	76
14 課 裏切りが込んでいるか	82
15 課 条件句	86
16 課 逆意 だれが代りに?	95
17 課 使役	102
18 課 受身・使役受身	107
19 課 敬語	115
20 課 文のスタイル	124
コラム 大切な動詞	39
「決まります」「おります」	122
大切な動詞	123

7 課 7 課 7 課

### 7 課 こ・そ・あ 自分と相手との関係

練習問題

1. <練習問題>

2. <練習問題>

3. <練習問題>

4. <練習問題>

5. <練習問題>

6. <練習問題>

7. <練習問題>

8. <練習問題>

9. <練習問題>

10. <練習問題>

11. <練習問題>

12. <練習問題>

13. <練習問題>

14. <練習問題>

15. <練習問題>

16. <練習問題>

17. <練習問題>

18. <練習問題>

19. <練習問題>

20. <練習問題>

ポイント

1) 自分と相手との関係

2) 自分と相手との関係

3) 自分と相手との関係

4) 自分と相手との関係

5) 自分と相手との関係

6) 自分と相手との関係

7) 自分と相手との関係

8) 自分と相手との関係

9) 自分と相手との関係

10) 自分と相手との関係

11) 自分と相手との関係

12) 自分と相手との関係

13) 自分と相手との関係

14) 自分と相手との関係

15) 自分と相手との関係

16) 自分と相手との関係

17) 自分と相手との関係

18) 自分と相手との関係

19) 自分と相手との関係

20) 自分と相手との関係



中級へのスムーズな移行を助ける

『日本語の文型と表現 59 中級へ行こう』



データ

- 1 平井悦子、三輪さち子
- 2 スリーエーネットワーク (P.11の「データ」参照)
- 3 2004年11月20日
- 4 4-88319-327-6
- 5 B5判139ページ
- 6 2,310円
- 7 別冊解答、CD (21分) 1枚付き

この教材は、300時間程度の初級のコースを終了した学習者が、無理なく初級後半から中級へ移行できるよう橋渡しをしてくれる教材です。

『みんなの日本語』や『新日本語の基礎』を終了した学習者を想定して、能力試験3級、2級レベルから59項目の新しい文型が選択されています。全体は10課から成り、各課には、「ファーストフード」「最近の子ども」「インターネットの利用」「あいづち」など、身近なテーマが一つずつ設定されています。様々な練習を通して、学習者が新しい文型と表現を使い、テーマについてまとまった文章が書けるようになることを目標にしています。

各課の構成は以下の通りです。初めに「話しましょう」では、ウォームアップとしての問と答があり、本文のテーマについて自分の知識や

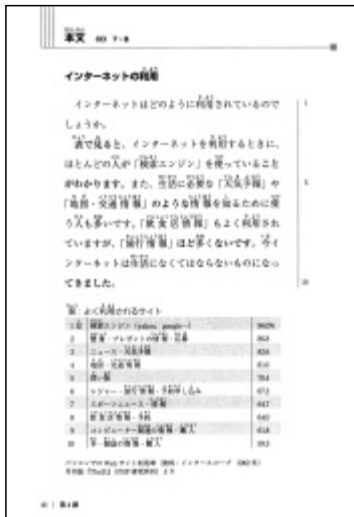
経験などを思い起こさせます。続く「本文」では、日本人の暮らしに関する情報についても触れています。本文のあとには「新しいことば」

「ことばの練習」「QA」があります。「新しい文型と表現」では、新出文型と表現が例文と共に提示されます。課によっては、関連項目の整理も含まれています。「新しい文型と表現の練習」には、項目ごとに、代入・変換などの「基本練習」と、文を完成する「応用練習」

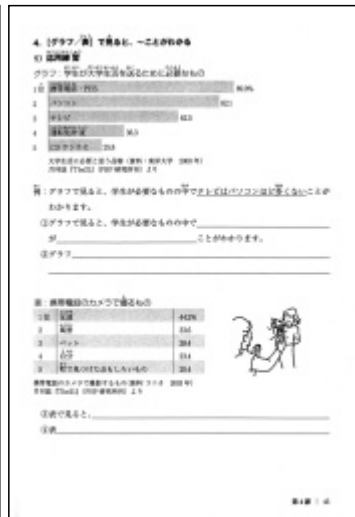
や「短作文」があり、次に、「作文」で質問に答えながら、自分の経験や考えを文章にまとめます。最後に、本文のCDを聞きながら、キーワードを聞き取ってタスクシートに書き込む聴解練習があります。CDの録音には2種類のスピードが

あり、学習者のレベルによって選択できます。

以上の順番で勉強する以外に、必要な練習だけを抜き出して使ったり、本文のテーマに基づいて討論、アンケート調査などの発展練習をするなど、いろいろな使い方ができます。



P. 40



P. 45

初級学習者の強い味方『基礎日本語学習辞典』改訂

『基礎日本語学習辞典 (英語版) 第二版』

データ

- 1 国際交流基金
- 2 凡人社 (〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル1F) TEL.03-3263-3959 FAX.03-3263-3116
- URL www.bonjinsha.com
- 3 2004年8月5日
- 4 4-89358-554-1
- 5 B6変型判 見出し語2,981語、998ページ
- 6 3,780円

『基礎日本語学習辞典(英語版)第二版』は、初級日本語学習のための日英辞書です。1986年の初版以来、日本国内外で約13万人以上の方に使われてきました。また、この辞書をもとにして、

13カ国語の翻訳版が22万部出版されています。

今回、初版発行から20年近くが経ち、改訂が行われました。主な日本語教材、辞書、語彙調査報告などを参考にして、見出し語70語が新しく加えられ、あまり使われなくなった見出し語は削られています。見出し語は合計2,981語で、今回の改訂で、日本語能力試験出題基準3・4級に取り上げられている語彙は全て見出し語として採用されました。

用例の中には時代に合わせて変更になったもの

のもあります。たとえば、「あります」の用例として、以前は「田中さんは子どもが3人あります」だったのが、「私の部屋には本がたくさんあります」に変更になり、「孫」の用例として「山田さんは孫が3人あります」だったのが、「山田さんは孫が3人います」に変更になりました。また、アルバイトやパートなど時給形態で給料を支払うことを受けて、「給料」の用例として、「給料には月給、週給、日給の3種類があります」であったのが、「給料には、月給、週給、日給、時給の4種類があります」に変更になりました。

さらに、今回の大きな改訂の一つに見出し語の並べ方の変更があります。見出し語彙がアルファベット順(ローマ字インデックス)から、かな五十音順(かなインデックス)

に変わりました。

巻末には、カナ語一覧が新たに載っています。

これから日本語の勉強を始める方、

現在初級の日本語を学習している方に、役に立つ辞書だと思います。



P. 1



P. 961

ビジネス日本語のルールとビジネス場面での基本的マナーが学べる

「オフィスで使える! マナーも身につく! ビジネス日本語」テキスト①内定者編、テキスト②新入社員編



データ

1 日本映像教育社 2 発行: 日本映像教育社  
 (〒171-0014 東京都豊島区池袋2-68-1 日建サ  
 テライト館8F) TEL.03-5950-2319 FAX.03-  
 5950-2509 発売: 2 凡人社 (P.12下の「デー  
 タ」参照) 3 ①、②とも2004年11月15日 4  
 ①4-89358-578-9 ②4-89358-579-7 5 ①B5判  
 195ページ ②B5判 229ページ 6 ①、②共  
 1,890円

ビジネス場面では、日本語の使い方やマナーに特別な約束があり、敬語の使い方も独特です。この教科書は、そんなビジネス場面で行われる日本語とマナーの要点を分かりやすくまとめている。

中級(日本語能力試験2級程度)以上の学習者で、ビジネスマンやこれから企業に入社する人を対象としています。『内定者編』でビジネス日本語の基本的ルールを勉強した後、『新入社員編』で具体的な場面での会話を勉強できます。

『内定者編』は、「ビジネスマナーの基本」[敬語の基本と使い方]「様々なビジネス文書の書き方」、『新入社員編』は、「電話の受け方とかけ方」「訪問と応接の場面

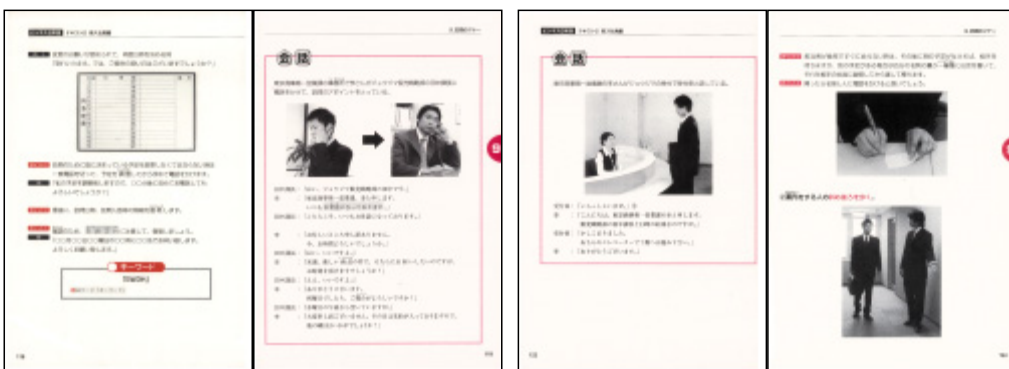
でのマナーと言葉の使い方」を丁寧に扱っています。写真と図が多く、とても見やすいので、ビジネス場面に接したことがない海外の学習者にも、たいへん分かりやすいと思います。どの課から学習を始めても良いように作られています。

「訪問のマナー」の課を見てください。訪問の基本的な流れを図で確認したあと、訪問の準備(例: アポイントのとり方)、受付でのマナー、名刺の受け渡しと応接室でのマナーについて、まとめてあります。よく使われる文型の紹介(例: 外出を連絡する文型「〇〇に行つてまいります。〇〇時に戻る予定です」)があり、応

接室での挨拶の会話、座り方などを写真で確認することができます。課の最後には、マナーや漢字に関する練習問題がついています。

DVDによる映像教材の付属教材として作られた教科書ですが、この教科書だけでも勉強できます。教科書の最後には映像教材のスクリーンショットが載っています。映像教材については、<http://www.etao.net/>で詳しい情報を得ることができます。

【①内定者編】「訪問のマナー」より



P. 118

P. 119

P. 122

P. 123

教室における第二言語習得を考えた人のために

『日本語教師のための新しい言語習得概論』

データ

1 小柳かおる 2 スリーエーネットワーク (P.  
 11の「データ」参照) 3 2004年10月5日 4  
 4-88319-326-8 5 A5判280ページ 6 1,680円

この本は、多岐にわたる第二言語習得(Second Language Acquisition: 以下SLA)の研究分野の中で、特に日本語教育に関わりが深い教室習得の分野を取り上げ、どのような指導をすれば教室が学習者にとって有意義な場になるのかを考えています。

この本は二部から構成されています。第一部は、第一言語習得(First Language Acquisition: 以下FLA)に関する最近の研究成果を紹介し、FLAとSLAにどのような相違点や共通点があるかをわかりやすく説明しています。

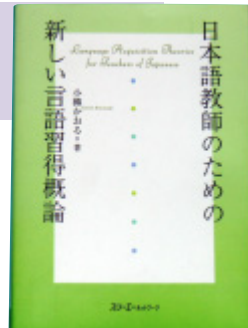
第二部では、まず、SLA研究にはどのようなアプローチがあるのかをまとめています。「生得的アプローチ」「相互交流的アプローチ」「認知的アプローチ」、それぞれのアプローチにどのような特徴があるのかをわかりやすく解説し

ています。次に、教室環境におけるSLAに焦点を当てて、「教室習得は、自然な習得順序を変えることはできないが、習得のスピードを速め、最終的に高い言語習熟度へと導いてくれる」ことを確認し、SLAを最も促進する指導のタイプとしてFocus on Formを取り上げ紹介しています。

さらに、学習者の年齢や性格や言語適性、認知スタイル、学習ストラテジー、動機付け、社会文化的要因などの違いがSLAにどのような影響を及ぼすのかについても丁寧な説明が加えられています。

日本語教師が自分自身の教室指導のあり方を見つめ直すときに、この本にまとめられているSLA、特に教室習得に関する知識は、

有益な視点を与えてくれるでしょう。巻末の引用文献リストと英日用語対照リストも非常に充実しており、言語習得研究に興味を持つ教師に有益な情報を提供しています。



目次	
〈第1部 第一言語習得(FLA)の研究〉……001	第6章 教室指導のSLAへのインパクト 117
第1章 初期のこぼの発達 ……005	第7章 言語習得のメカニズム ……140
第2章 こぼの社会化 ……015	IV SLAに影響を及ぼす環境と学習者要因
第3章 脳の発達とFLA ……024	第8章 言語学習の開始年齢 ……157
第4章 FAL研究のアプローチ ……033	第9章 学習者の認知的要因とSLA ……167
〈第2部 第二言語習得(FLA)の研究〉……049	第10章 学習者の情動的要因とSLA ……179
I SLAの理論の変遷	第11章 社会文化的要因とSLA ……191
第1章 SLA研究の始まり ……052	V SLA研究の意義
第2章 SLA研究のアプローチ ……060	第12章 言語教育の基礎研究としてのSLA ……200
II 第二言語の発達過程	引用文献 ……217
第3章 学習者言語の特徴 ……076	英日用語対照リスト ……254
第4章 SLAにおける第一言語(L1)の影響 ……085	索引 ……265
III 教室におけるSLA	
第5章 SLAから見た教室環境 ……095	

P.11 ~ 13 は国際交流基金の以下の日本語専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

王 崇梁、向井園子、久保田美子、長坂水晶、木谷直文(執筆順)

# 日本語・日本語 教育を研究する

第26回

このコーナーでは、これから研究を目指す海外の日本語の先生方のために、日本語学・日本語教育の研究について情報をおとどけしています。今回のテーマは「待遇コミュニケーション」という捉え方です。

## 「待遇コミュニケーション」という捉え方



早稲田大学大学院日本語教育研究科教授 蒲谷 宏

### 1. 「敬語」から「敬語表現」へ

「敬語」は、日本語の特色として取り上げられることが多く、日本語教育においても、指導や学習が困難な項目だとされています。これまでも様々な観点から研究されていますが、敬語の持つ基本的な性質に従って考えると、従来の尊敬語、謙譲語、丁寧語は、それぞれ次のように再整理されることになります。(詳しくは、蒲谷他(1998)『敬語表現』を参照。)

**尊敬語**→①お書きになる・いらっしゃる・おありになる・山田様(動作・状態・所有の主体・人物を高める)②くださる(動作の主体を高める+恩恵)③御社・玉稿(相手に関するものを高める)

**謙譲語**→①伺う・申し上げる(動作に関係する人物を高める)②いただく・さしあげる(動作に関係する人物を高める+恩恵)③まいる・申す(動作の主体を高めない+改まり)、④ご説明いたす(動作に関係する人物を高める+改まり)、⑤弊社・拙稿(自分に関するものを低める)

**丁寧語**→①お花・ご飯(事物を美化する)②です・ます(丁寧な文体にする)、③でございます・であります(丁寧な文体にする)

このような敬語そのものについて明らかにしていく研究も重要ではありますが、実際の言語生活において問題になるのは、語句としての敬語だけではなく、その敬語を用いた「表現」全体に関わることだと言えます。例えば、(1) (社長秘書が他社の客に対して)「私たちの社長がみなさまにご挨拶なさいます。」(2) (学生が教師に対して)「先生も紅茶をお飲みになりたいですか。」などといった表現では、高めるべき「社長」や「先生」に対して高める性質を持った敬語を用いているため敬語そのものの問題はありますが、(1)では、いわゆる「ウチソト」の認識により自分側の社長を高めない、(2)では、相手(特に上位者)に対して希望や願望などを直接的に尋ねない、といった点において問題のある表現になって

います。これらは、「敬語」の問題というより、敬語の使い方を含めた「敬語表現」としての問題だと考えられます。「敬語表現」の研究では、だれが、だれに、だれのことを、どういう状況で、どのように表現するのかといった点が課題になるわけです。

日本語・日本語教育の研究において「敬語」を扱う場合には、「敬語表現」へと視野を広げて考えていく必要があると言えるでしょう。

### 2. 「配慮表現」と「敬意表現」

「敬語表現」に関連するものとして、「配慮」を表す「配慮表現」があります。「敬語表現」のほとんどすべては、「相手」や「話題の人物」に対する何らかの「配慮」の現れであると言えます。ただし、配慮の表現には、必ずしも「敬語」だけが関係するわけではありません。例えば、友人や後輩に対する、(3)「悪いんだけど、頼んでもいい?」(4)「今ちょっといいかな。」(5) (誘いを断った後に)「次は必ず行くから、また誘ってね。」・(誘いを断られた後に)「また誘うからね。」などといった表現も、相手に対する何らかの配慮を示していると言うことができます。(3)では、依頼することは相手の負担になったり迷惑になったりするという認識を前置きとして述べている点、(4)では、話の内容に入る前に相手が話せる状況にあるかどうかを確認しようとする点、(5)では、断ったり断られたりした後でも相手との関係を維持していく意思があることを明示しようとする点などにおいて、相手に対する配慮を示していると言えるわけです。しかし、これらは「敬語」を用いた表現ではなく、また相手に対する「尊敬」の気持ちを表しているというわけでもありません。

こうした配慮に関わる諸表現を「配慮表現」と呼ぶと、「配慮表現」は実際のコミュニケーションにおいて重要なものとなります。従来の研究が、とすれば上位者に対する配慮を中心に扱っていたのに対して、「配慮表現」に関する研究は、同位者、下位者に対する様々な配慮の

あり方にも眼を向けるものだという点で、さらに詳細な研究が期待される領域になるでしょう。基本的には、「ボライトネス」の捉え方もこうした「配慮表現」と関係するものだと考えられます。

また、「敬意表現」(国語審議会(2000)「現代社会における敬意表現」答申)という考え方は、他者に対する配慮・尊重だけでなく、自己に対する配慮・尊重も重視している点に特色があります。コミュニケーションにおいて、多様な表現の中から自己の人格や立場にふさわしいものを選択することが、「自分らしさを表すための配慮」だと考えられています。相手に気を遣うことや相手の意向に沿うことなどばかりを問題にするのではなく、自分自身がどういう人間であるのかを表現しようとする、自分のプライドに対する配慮などにも注目することは、今後の「配慮表現」の研究につながるものと言えるでしょう。

### 3. 「待遇表現」と「待遇理解」、そして「待遇コミュニケーション」の研究、教育へ

「敬語表現」「配慮表現」「敬意表現」は、コミュニケーション研究において重要なものとなりますが、実際の表現の中には、「花子ちゃん、あのおさるさんはかわいいねえ。」など親しみを表す「親愛表現」や、「てめえ、何をしゃがる！」など罵ったり貶めたりする「軽卑表現」などもあります。このように、上下親疎の「人間関係」すべてを含めた表現を「待遇表現」と呼んでいます。「待遇表現」の研究においては、すべての表現が研究対象となるわけです。

しかし、コミュニケーションを考えるときには、「表現する」だけでなく「理解する」という行為についても着目する必要があるでしょう。「相手」は「自分」をどのように待遇しているのか、「相手」が何を伝えようとしているのかを「相手」の気持ちになって考えてみる、上下・親疎の「人間関係」を認識しつつ「相手」の表現や「相手」を理解しようとする、等々が問題となります。こうした行為のことを「待遇理解」と呼ぶと、「待遇表現」から「待遇理解」へと研究の幅は広がっていきます。

私たちの実際のコミュニケーションは、そうした「待遇表現」と「待遇理解」の「やりとり」で成り立っています。そして、そうした「やりとり」の「くりかえし」によって、コミュニケーションは深まっていくのだと言えるでしょう。

このように「待遇表現」と「待遇理解」を併せて考える必要があることから、「待遇コミュニケーション」という捉え方が生まれてきました。「待遇コミュニケーション」では、これまで述べてきたすべての事柄を扱うこと

になります。「敬語」の問題はもちろん、「敬語表現」における「丁寧さ」の問題、「敬意表現」で指摘されているような配慮・尊重に関する問題、「待遇表現」「待遇理解」における上下親疎の「人間関係」、改まり・くだけの「場」などに関わる問題のすべてが含まれます。

「待遇コミュニケーション」では、「人間関係」や「場」の認識に基づき、コミュニケーションの「意図」をどのような「文章・談話」によって表現するのか、理解するのかが重要な研究の枠組みとなります。例えば、「依頼」のコミュニケーションを考えるときには、依頼する表現行為だけではなく、依頼される理解行為も考える必要があります。また、依頼を引き受けることだけではなく、断ることも含まれます。そして、断るだけではなく、断られること、という視点も必要でしょう。そして、断った後のコミュニケーションも重要な課題になります。

「コミュニケーション主体」のAとBが、相互に「表現主体」「理解主体」となり、「自分」と「相手」、「話題の人物」との「人間関係」を考え、それまでの経緯やそのときの状況や雰囲気を検討し、自らの「意図」をどのように実現していこうとするのか、どのような言葉を選び、どのような談話や文章を展開していくのか、どのような表情や態度をするのか、直接会うのか、電話・メール・手紙で伝えるのか、それぞれの特色や傾向などを明らかにしていく必要があります。こうした研究が、「待遇コミュニケーション」の教育／学習のあり方、実践にも関連してくるのだと考えられます。

「待遇コミュニケーション」の研究は、日本語についてだけではなく、様々な言語における研究が必要になります。そして、日本語とそれらの言語との対照研究、および日本語を含む様々な言語における共通性や普遍性を明らかにしていくことも課題になるでしょう。そうした研究が、「待遇コミュニケーション」の教育／学習に関する研究に必然的につながってくるのだと言えます。今後、「待遇コミュニケーション」は、さらに広がり、発展していく研究分野になると思います。

#### 「待遇コミュニケーション」に関する基本的な参考文献

- 蒲谷宏・川口義一・坂本恵(1998/2002第7刷改訂)『敬語表現』大修館書店
- 蒲谷宏・待遇表現研究室(2003)「待遇コミュニケーション」とは何か『早稲田大学日本語教育研究』第2号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 蒲谷宏(2003)「待遇コミュニケーション教育」の構想『講座日本語教育』第39分冊 早稲田大学日本語研究教育センター
- 早稲田大学待遇コミュニケーション研究会(2003/2004)『待遇コミュニケーション研究』創刊号/2号 <http://www.f.waseda.jp/kabaya/wtck/>

# 文法を楽しく!!

## 「他動詞・自動詞」(1)

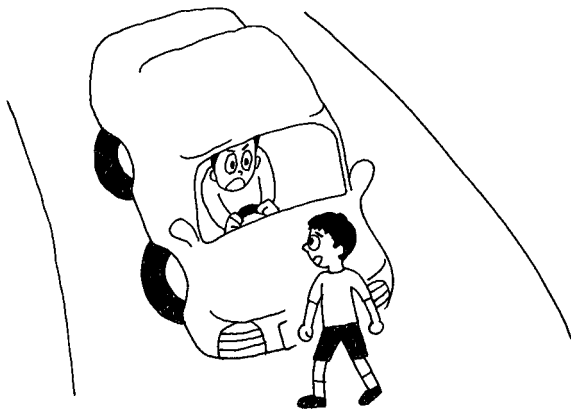
通信で習った項目: 他動詞・自動詞、受身、やりもらい、～てきた、～ていく、～ている、～てある、  
～ために、～ように、～たら、～と

今回と次回は「他動詞 transitive verb」「自動詞 intransitive verb」について勉強します。

日本語の動詞には「止める・止まる」「つける・つく」のように他動詞・自動詞が対(ペア)になっているものがあります。これらは混同しやすく、学習者にとっては難しい事項の一つです。

次の絵を見てください。この絵を見てあなたは a, b のどちらを言いますか。

- a. 男の子が車を止めた。
- b. (男の子がいたので) 車が止まった。



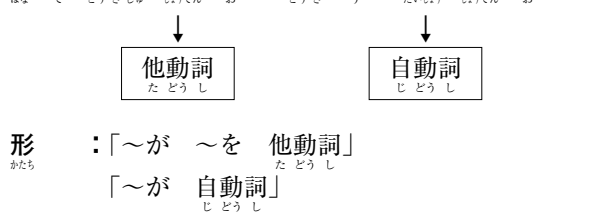
もし、あなたが男の子に注目して言うときには a、車に注目するときには b と言うでしょう。a では「止める」、b では「止まる」という動詞が使われています。

a のように動作主(「男の子」)が、ほかのもの(「車」)に対して何かをするときに他動詞(「止める」)を、反対に、動作を受ける対象(「車」)がどう変化するかを表すときには自動詞(「止まる」)を使います。

対(ペア)のある他動詞・自動詞のポイントは次のようです。

### ポイント:

話し手が動作主に焦点を置くか、動作を受ける対象に焦点を置くか。



上の「焦点を置く」というのは、「注意を置く」「注目する」という意味です。

では、次の会話を見てみましょう

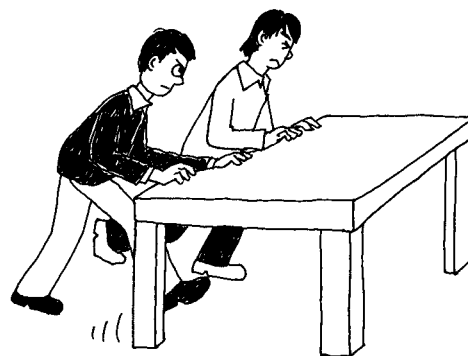
- 【会話】 A：ああ、寒い。  
あっ、窓が開いていますね。  
B：本当ですね。だれが開けたんでしょう。  
A：さあ…

Aさんは窓に注目して、窓のことを話しています。一方、Bさんは窓を開けた人を問題にしています。Aさんは自動詞「開く」を、Bさんは他動詞「開ける」を使っています。このように他動詞・自動詞の使い分けは、話し手が動作主に焦点を置くか、動作を受ける対象に焦点を置くかによって決まります。

他動詞・自動詞のポイントがわかったら、次に大切なことは、基本的な他動詞・自動詞を覚えることです。次の他動詞・自動詞のペアはよく使われるものなので、正確に、そして、完全に覚えてください。

他動詞		自動詞
た どう し		じ どう し
友子がドアを開ける	⇔	ドアが開く
友子がドアを閉める	⇔	ドアが閉まる
友子が電気をつける	⇔	電気がつく
友子が電気を消す	⇔	電気が消える

友子がいすをこわす とも こ	⇔	いすがこわれる
友子がいすを直す とも こ	⇔	いすが直る なお
友子が予定を決める とも こ	⇔	予定が決まる き
友子が予定を変える とも こ	⇔	予定が変わる か
友子がかごに子犬を入れる とも こ	⇔	かごに子犬が入る はい
友子がかごから子犬を出す とも こ	⇔	かごから子犬が出る で
友子が電話をかける とも こ	⇔	電話がかかる でんわ



次はこれらの動詞を使った練習問題です。

**問題1** : < >の中の動詞を選んで、( )に入れ、

文を完成してください。

- (1) 林さんが今テレビを ( ) います。  
林さん はやし いま <直す・直る>
- (2) 信号が青に ( ) ました。さあ、渡りましょう。  
信号 しんごう あお <変える・変わる>
- (3) 地震で電気が ( ) た。もう1時間も ( ) いる。  
地震 じしん でんき <消す・消える>
- (4) 冷蔵庫にどんなものが ( ) ありますか。  
冷蔵庫 れいぞうこ <入れる・入る>
- (5) A : さっき西さんという人から電話が ( ) きましたよ。  
西さん にし ひと <かける・かかる>
- B : ああ、そうですか。あとで ( ) おきます。

(問題1の答はこのページのどこかにあります。)

女性か男性かはわかりませんが、2人の人が重いテーブルを運んでいる場面ですね。その2人は丁寧に話しているの、親しい友達ではありませんね。「ありがとうございます」ではなく「ありがとう」と言っているの、AはBの先輩か上司かもしれません。さて、答はできましたか。答は、「①動か(ない)、②動いた」です。①に「動かせ(ない)」と答えた人がいますか。また、②で「動かせた」とした人は?

「動く」は自動詞で、「動かす」は他動詞です。①も②もテーブルに焦点が置かれていますから、自動詞「動いた」が適切です。ただし、①で、Aさんが自分の「力」のことを話しているのだと解釈すれば、「動かせ(ない)」でも間違いではありません。②はテーブルが「動いた」という変化の描写ですから、「動かせた」にはなりません。

では、最後に宿題です。次回までに問題3と4を考えてください。どんな動詞が来ればいいでしょうか。

次はもう少し難しい他動詞・自動詞の練習です。

**問題2** : < >の中の動詞を選んで、( )に入れ、

会話を完成してください。

- A : このテーブル、重くて (①) ないんですよ。いっしょに押してあげませんか。  
B : いいですよ。  
A B : 一、二、の、三。  
A : あ、(②) !! ありがとう。

<動かす/動く>

**問題3** : プラスチック製品は ( ) にくい。上

から落としても、なかなか ( ) ない。

<割る/割れる>

**問題4** : 先週の試合で、日本チームは2対1でイラン

チームに ( ) 。

<やぶる/やぶれる>

参考文献

つくばランゲージグループ(1991)『Situational Functional Japanese II Drills』凡人社  
市川保子(2005)『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク

244 `2c44 (9)	24Y (7)
278 `78 (8)	148 (2)
278 (1)	801 (1)

これはどんな状況の会話で、だれとだれが話しているかわかりますか。

(状況) (話している人)

このコーナーの担当者：市川保子(日本語国際センター客員講師)  
このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。

「ヤスコの日本語ハウス」という個人のホームページを開いています。英語の翻訳も付いていますので、ぜひ活用してください。ホームページのアドレスは、<http://homepage3.nifty.com/i-yasu/index.htm> です。

語学以外の専門分野で日本語を使って  
仕事をしている外国人を紹介する

# にほんご ハローワーク

**Q1: 来日してから、現在のお仕事をされるにいたった経緯を教えてください。**

中国の大学を卒業後、政府の派遣で北海道大学大学院に留学し、工学博士号を取りました。博士号を取る直前に天安門事件が起これ、帰国を延ばして日本のソフトウェア会社に就職しました。でも、この会社がすぐに倒産してしまい、仕方なく、学生時代に開発した土木解析ソフトを売ってみたら、よく売れて、5年間で7億円の利益を上げました。その後、会社経営をする中で、日本企業の営業のあり方に疑問を持つようになり、より合理的かつ効率的な営業活動を可能にするソフトとサービスを開発し、販売するようになりました。

**Q2: 日本語は、どのようにして勉強したのですか？**

日本語は来日前に3カ月ほど、「お名前は？」といった程度のことを習っただけです。大学院への留学ですから、基本的に授業は英語で行われますので。本格的に日本語を身につけたのは日本に来てからで、主に対人関係の中で覚えていきました。

日本に来てからは、言葉で困ったことはありません。よくわからないことは、身ぶり手ぶりを使っても、確認すればいいですから。でも、言葉自体はわかっていても、意味がわからないことがあって、それが困りました。

例えば、大学院にいたときのことで、日本人の先輩の家に遊びに行き、夕食後、先輩の奥さんから風呂に入っていくよう勧められました。湯船につかって体を洗い、最後に風呂の湯を抜いて浴槽

をきれいに洗って出てきました。ところが、奥さんがお風呂のお湯がなくなっていることに気付いて、「宋さん、お湯どうしたの？」と聞くのです。私はその質問の意味がわからず、答えようがなかった。「お湯をどうして流したの？」と聞かれれば、返事ができたのですが。その時は、日本では湯船は温まるためのもので、体を洗うところではないという説明を受け、ようやく理解できました。それにしても、私が入った後のお湯に、誰かが入ると考えただけで顔が赤くなりました(笑)。今でも、温泉には入りますが、家庭用の浴槽はほとんど使いません。

**Q3: 日本の好きなところはどこですか？**

好きなところは、調和された国であり、モラルが高いことですね。さすがに大和です。ところが「和」というのは、同一性が高く、互いの相違をなくそうとする。裏返せば、みんなが同じように物事を考え、異なるものがあると、それから逃げたり、気づかないふりをしようとする。ここが違和感を持つところ。つまり、日本について好きな所は、同時に嫌いな所でもあるのです。

**Q4: どうしても馴染めない日本文化はありますか？**

ビジネス上の儀礼ですね。例えば年賀状です。会社には、毎年印刷された形式だけの年賀状が数千枚も届きます。これは、大きな無駄だと思います。

さらに嫌いなのは、「挨拶に伺います」という申し出です。こちらも忙しいですから、「挨拶」ではなく、訪問の目的を伝えてほしいのです。その内容によって、同席させる担当者を選んだり、こちらの

## 第2回 日本の営業文化への疑問をビジネスに

宋文洲 (Wen Zhou Song) さん

ソフトブレン株式会社代表取締役会長。  
日本企業の非効率的な営業に疑問を持ち、より合理的かつ効率的な営業活動を可能にするソフトウェアの開発・販売を行う。著書に『やっぱり変だよ日本の営業』(日経BP企画)他。1963年、中国山東省生まれ。



準備もありますから。しかし「いえいえ、ただのご挨拶ですから」と言う。お互いに時間の無駄だと思うのですが…。僕も日本の文化は尊重したいですが、ビジネス社会に持ち込むのは、とても非効率的だと思います。こうした儀礼は、どの国にもあると思いますが、日本には少し多すぎますね。

**Q5: 海外の日本語学習者に日本語学習のコツなどを。**

私は何事によらず、現場主義なんです。会社の経営でも、現場に行ってお客さんの声を聞かずに、役員室の議論だけで事を進めようとする必ず失敗します。言葉の習得も同じです。言葉だけを覚えようするのは無意味です。日本人とのコミュニケーションの中で覚えることが大事だと思います。

より詳細な内容については下記ウェブサイトをご覧ください。

[http://www.jpff.go.jp/j/japan\\_j/publish/tsushin/index.html](http://www.jpff.go.jp/j/japan_j/publish/tsushin/index.html)

### 『日本語教育通信』 第52号

2005年5月発行

編集・発行 独立行政法人 国際交流基金  
日本語事業部企画調整課

〒107-6021 東京都港区赤坂1-12-32  
アーク森ビル21F

The Japan Foundation  
Planning and Coordination Div.,  
Japanese - Language Dept.

(Ark Mori Bldg. 21F, 1-12-32 Akasaka  
Minato-ku, Tokyo 107-6021, Japan)

TEL. 03-5562-3525 FAX. 03-5562-3498

E-Mail jfnctt@jpf.go.jp

編集協力

財団法人 国際文化交流推進協会

Japan Association for Cultural Exchange

(ACE Japan)

(表紙イラスト: jane-tonntu) 古紙100%再生紙使用